

# 意見交換セッション 生成系AIの活用について ～ Sセメスターをふまえて～

進行役

学際情報学府 (M1) 中條 麟太郎

# 本セッションの目的

- ChatGPTを始めとした生成系AIツールの特に教育における利用可能性と東大における指針について理解を深める
- Sセメスターの経験も踏まえて活用可能性と対応策について議論する

# タイムスケジュール

- 15分 太田先生（理事・副学長）からの紹介
- 30分 LearnWiz Oneを用いた意見交換



# 意見交換 LearnWiz Oneを利用して



- 聞きながらの意見・疑問・コメントなども歓迎します
- Sセメスターの授業において
  - 生成AIの利用について学生にどう伝えましたか
  - 何か知っている好事例・トラブル事例があれば教えてください

# uteleconでの情報提供



## 生成AI（ChatGPT等）関連情報

### 目次

- 本ポータルサイト (utelecon) の情報
- その他参考情報

このページでは、ChatGPT等の生成AI (Generative AI) に関する情報をまとめていきます (随時更新予定)。

### 本ポータルサイト (utelecon) の情報

- 東京大学の学生の皆さんへ：AIツールの授業における利用について (2023年5月26日付/2023年5月29日掲載)
- AIツールの授業における利用について (2023年4月28日付/2023年5月16日掲載)
- 生成系AI(ChatGPT, BingAI, Bard, Midjourney, Stable Diffusion等)について (2023年4月3日/太田邦史 理事・副学長)
- 説明会「オンラインでも対面でも活用！Web会議・クラウドツールの説明会～そして「あのAIツール」について“Chat”しましょう～」 (2023年3月15日)
  - 特別セッション「ChatGPTスペシャルセッション」を行いました。資料・録画を掲載しています。

## 生成AI（ChatGPT等）関連情報

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/online/topics/generative-ai>

東京大学の方針や  
太田 理事・副学長からのメッセージ  
参考資料などがまとまっています



# 生成系AI(ChatGPT, BingAI, Bard, Midjourney, Stable Diffusion等)について

## 目次

何ができるか、「検索」ではなく「相談」するシステム

仕組み上、書かれている内容の信憑性には注意が必要

機密情報や個人情報などを安易にChatGPTに送信することは危険

将来著作権や文書を用いた試験・評価に問題が発生する可能性がある

社会に対する影響

本学の学生や教職員はどう対応したらよいか

Footnotes

2023年4月3日

東京大学理事・副学長（教育・情報担当）  
太田 邦史

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/docs/20230403-generative-ai>



# 東京大学の学生の皆さんへ：AIツールの授業における利用について (ver. 1.0)

2023年5月26日

理事・副学長（教育・情報担当）／学部・大学院教育部会長 太田邦史

東京大学の方針として、ChatGPTを始めとした生成系AIツールの教育現場における利用について、下記のように暫定的に方針を定めました。学生の皆様は、生成系AIツールの長所短所を理解した上で、適切な活用を心掛けてください。

1. **【大学の対応】** 東京大学では、生成系AIツールの利用を一律に禁止することはせず、その活用の可能性を積極的に探るとともに、活用上の実践的な注意を発信していきます。
2. **【授業での利用可否】** 授業の特性に応じて生成系AIツール利用の判断は異なります。そのため、各授業における生成系AIツール利用の可否および利用する際の条件設定は、担当教員の判断に委ねています。それぞれの授業における利用の是非については、所属学科や専攻および各授業の担当教員の指示に従ってください。
3. **【教育効果の重視】** 大学での学びにおいては、知識生成の過程や洗練化の過程を通して思考能力を高めることが重要です。生成系AIツ

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/docs/ai-tools-in-classes-students>



# AIツールの授業における利用について (ver. 1.0)

## 目次

[1] 自分がこれまで課してきた課題や試験などを題材にChatGPT、BingAI、Bardなどの言語生成系AIに答えさせ、そのレベルを感じておく

[2] 授業や課題ごとに、言語生成系AI利用に対する教員のスタンスを明示する

[3] 課題の目的、学生にとっての達成目標、成長目標を学生に伝える。得られた結果ではなく解答を得る過程が重要であることを説く

[4] 実践可能な範囲で、言語生成系AIによって安易に解答が得られない課題・出題形式を検討する

[5] AIによって生成された文章であるかの検出ツールは過信しない

[6] 教育効果をもたらす影響と効果について

終わりに

2023年4月28日

理事・副学長（教育・情報担当）／学部・大学院教育部会長 太田邦史

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/docs/ai-tools-in-classes>

# ここでちょっと質問



- これらの東大の指針を知っていましたか？
- 実際に自分が出題している課題や試験などをChatGPTなどの生成AIに答えさせてみたことはありますか？

# 意見交換

## LearnWiz Oneを利用して



- Sセメスターの授業において
  - 生成AIの利用について学生にどう伝えましたか
  - 何か知っている好事例・トラブル事例があれば教えてください
- その他、意見、疑問、コメントなども歓迎します



# 意見交換 LearnWiz Oneを利用して



(1人) 自分のコメントを投稿 (5分)



(1人) 他者のコメントを確認 (2分)



(全体) 参加者全員でコメントを共有

utelecon説明会 イベント名: utelecon説明会 20230914  
20230914 意見交換

自分の投稿 他者の投稿 人気順

**ChatGPTなどの言語生成系AIについて、意見、疑問、コメントなどを投稿してください**

自由に投稿していただいて構いませんが、特にSセメスターでの経験（どのような事例に直面したか、どのように対応したか）を歓迎します

テキストを入力してください

名前 (任意)  送信

# まとめ

- 今日の意見交換が生成系AIツールの理解促進  
利活用につながれば幸いです
- ツール活用における相談や質問は  
uteleconの「サポート窓口」もご活用ください